

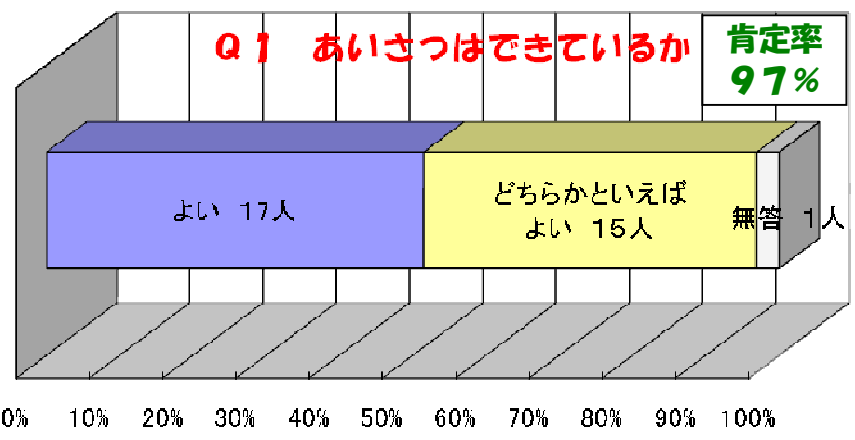
**安全への心構えを新たに** ~ ボランティアの方々のご意見から ~

12月末、地域安全ボランティア（見守り隊、おさんぽ隊）の皆様方にアンケートをお願いしたところ、33名の方々から回答が寄せられました。夏の暑い日、冬の寒い日と、見守りをさせていただき、心より感謝です。下記のようなうれしいご意見もいただきました。

- あいさつが大変良くできるようになったと感じています。大きい声のあいさつはこちらも元気になります。
- 大きい声であいさつをしてくれます。いつも「ありがとうございます」と言う男の子もいて気持ちがいいです。子供さん達から元気ももらっています。

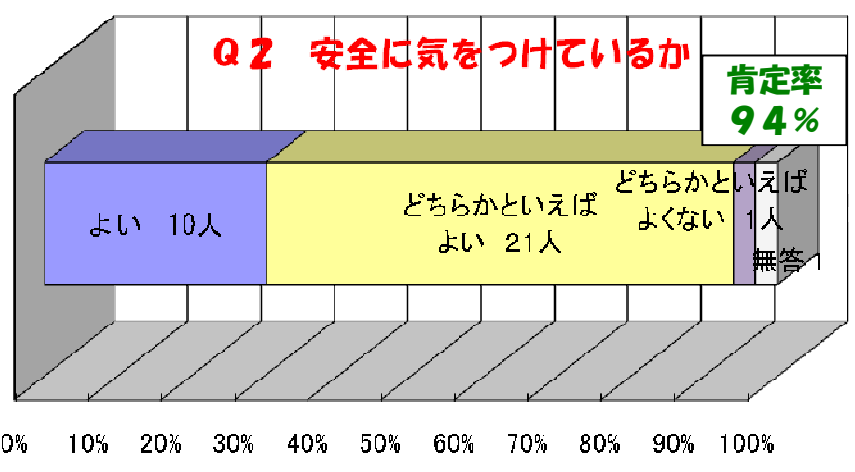
各質問項目について「よい」「どちらかといえばよい」「どちらかといえばよくない」「よくない」の4段階で評価していただきました。「よい」がもっと増えることを願っています。なお、グラフ右上の肯定率は「よい」と「どちらかといえばよい」のパーセントです。

**1 ボランティアの方に「あいさつ」はできていますか**



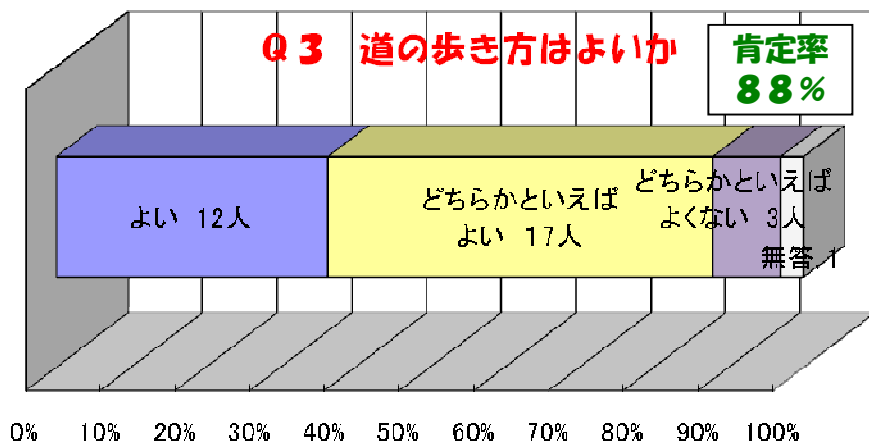
昨年の12月から、6年生が屋代の町にあいさつを響かせようと、率先して登校班の中であいさつをし、地域の方々にも明るいあいさつをするように下級生に指導をしています。

**2 交通安全を含めて、「安全」に気をつけているようですか**



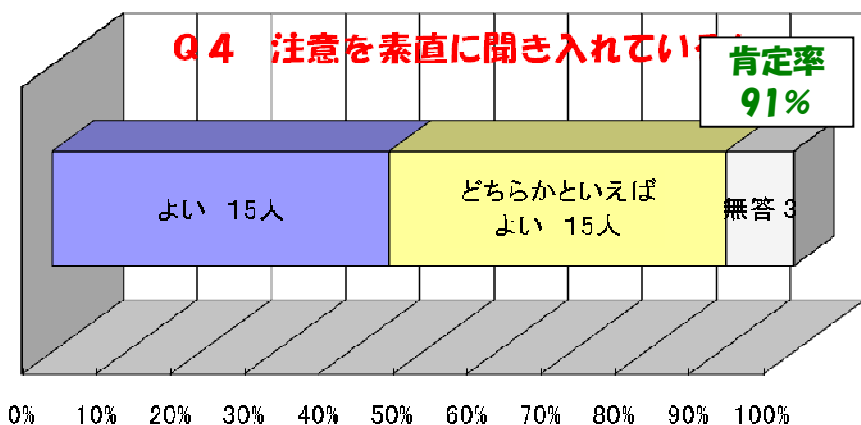
登校時に比べて下校時の方が、集団登校に比べて自由登校の方が、気持ちの緩みがあり、危険な様子が見られます。「行ってらっしゃい。気をつけて！」と愛の一言で、安全意識を常にもたせていきましょう。

### 3 「道の歩き方」についてどうお感じですか



路肩の上を歩く、ポケットに手を入れて歩く、道いっぱいに広がって歩く、車道に出てくる、左右を確認せずに急に飛び出す、横断歩道の途中で立ち止まる等、危険な歩行をご指摘いただきました。

### 4 注意されたことを、子どもたちは素直に受け入れているとお感じですか



素直に人の言うことを聞く子は、誰からも好かれて、声をかけてもらえます。困ったりした時には、まわりが助けてくれます。失敗したら、自分からあやまることができる子に育てていきましょう。

### ◆ こんな大切なご意見もいただきました！ 指導にいかしていきます

- 整備された道もあれば、不便な道もある中、子どもたちは頑張って登校していると思います。子どもたちが無事故で登下校することを心より願っています。
- 低学年の児童、特に男子の帰宅時、路肩にのぼったり、車道に出てきたり、ヒヤッとすることがあります。
- 横断旗をせっかくもっている班長さん副班長さんなので、しっかり広げて渡りましょう。横断旗を広げている児童が少ない。
- 集団登校から自由登校に切り替わった時に、自己責任を自覚しての姿が見られる一方、解放された感じの子どもの姿も見られる。切り替え時の指導の充実が望まれる。
- 登校時道をいっぱいに広がって歩く傾向がみられる（自由登校の時）。手袋をせずにポケットに手を入れている子どもが見受けられる。

冬季に入り、路面の凍結や屋根からの落雪を心配して、危険のある通学路を連絡してくださる方が何人もいらっしゃいました。子どもたちを温かく見守り、成長を喜んでいただいている地域の方々がたくさんおられることを忘れてはいけません。地域安全ボランティアの皆様方のご協力に感謝し、交通事故に遭わないよう、気をつけて通学してください。